

様式1

令和7年度 学校評価表

学校教育目標	心豊かでねばり強く 正しく たくましく社会を生き抜く生徒を育成する		
--------	-----------------------------------	--	--

a ミッション	小中連携教育の充実による系統的で魅力ある教育の実現	a ビジョン	<input type="checkbox"/> ワクワクする学校 <input type="checkbox"/> 成長し続ける学校 <input type="checkbox"/> 規律と温もりのある学校
---------	---------------------------	--------	--

尾道市立吉和中学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
				g 達成値	g 達成値	g 達成値	g 達成値	イ		ロ	ハ		
資質・能力の育成	誰一人取り残さない学びの保障をするために、生徒指導と教科指導の一体化した授業改善を進め、生徒の基礎的・基本的な学力の定着と主体的な学びを進める	ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり、学習集団づくりを通して、生徒が「分かる」「できた」と感じられ、意欲的・主体的に学習に取り組む態度の育成をはかる。	①「わかる」「できる」授業づくり ・学ぶ必然性のある課題設定 ・ねらいの明確化と流れの可視化 ・生徒の実態に合わせた主体性を引き出す工夫 ② かわり合いの充実 ・思いや考えを伝え合う場面の設定 ・学びの定着するための教え合い活動 ③小中連携 ・小学校との互見授業の実施 ・小中学校合同研修の実施	年度初め比+0.2									
	家庭学習の習慣化や繰り返し学習と、個別最適な学びや協働的な学びを進め、基礎的な知識・技能を定着させる。	①基礎基本の徹底を目的とした「がんばり」学習の充実 ②「がんばり」と連動した小テストの実施 ③生徒の必要感に応じた学習部屋の設置および補充学習の実施	①②小テストの平均通過率 ③生徒アンケート「一人で学んでいて、解決できない問いや課題に出会っても、できるだけ自分なりにやり続けている。」のスコア平均値（5段階）	①②通過率80% ③年度初め比+0.2									
生徒指導の充実	生徒の主体的な絆づくりを推進し、積極的な生徒指導を進め、安全・安心な温かい人間関係を構築し、生徒の「本気」を引き出し、豊かな心を育てる	教育相談、道徳教育を充実させ、生徒に寄り添いねばり強く心に響く生徒指導に取り組み、行きたい学校づくりを進める。	①学年担当・生徒指導主事・教育相談コーディネーターで細かな情報共有を行い、月に1回ケース会議を実施して、次月の取組を決める。 ②担任以外の教員との全員面談、SCによる全員面談などを通じた教育相談機会の充実を図る。また、ソーシャルスキルトレーニングや道徳教育による相互理解により、相談する力の育成を図る。	①5人以内 ②90%									
	学校行事や生徒会活動など体験学習（特別活動）を充実させ、生徒の「本気」を引き出し自己指導能力を育成するために、集団づくりを進める。	①生徒が自分たちで考え、全校生徒がよりよい学校作りに携わることができる行事計画や生徒会活動を行い、生徒の本気を引き出す。 ②生徒の頑張りや掲示物を通じて共有し、リーダーの思いや生徒1人1人の目標を共有できる機会を増やす。	①生徒アンケート「学校行事に本気で取り組んでいます。」の項目 肯定的評価 ②生徒アンケート「学校行事に本気で取り組んでいます。」の項目 肯定的評価	①②95%									
吉中太鼓	教育活動の核として身に付けた力を様々な場面で発揮させ、生徒同士、保護者や地域、教職員と響き合う	吉中太鼓で地域や学校、自分に誇りを持たせ、日常生活や将来に繋がる心や所作を育てるとともに、感謝の気持ちを行動で表現できる生徒を育成する。	①吉中太鼓の活動を通じて、自分たちで課題解決する場面を充実させることで、日々の学校生活の中の課題も解決できる生徒を育成する。 ②太鼓取組の中で、礼儀作法や吉中太鼓の歴史や伝統を継承させることの重要性を理解する。	①90% ②95%									
働き方改革	職員のワークライフバランスを確立しやりがいをもって働ける	個業とならないよう、情報共有をはじめ積極的にコミュニケーションを図りながらチームで動き、職員がお互いに頼みやすい職場づくりを進めるとともに、長時間労働を解消する。	①日々の情報共有を密にし、学校経営会議、分掌会、学年会等を充実させることを通じて、主任主事を中心としてチームで動く。 ②衛生懇話会において、業務改善の具体的方法について議論し、業務改善を推進する。（月1回）	①②80%									

【自己評価 評価】

A：100≦（目標達成）

C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100

D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。